たぬしまる

久留米市田主丸町田主丸 65-1　TEL　72-3191

久留米市立田主丸中学校長通信　　校訓『 忍　耐 』

未来を切り拓く「人間力」を身につけた生徒　「時・場・礼」の育成

絵：風の丘美術館　大野勝彦先生

★3 年生：「いのちの授業」★

今年は、３年生が５クラスのため、2 月 15 日（火）と 16 日（水）の２日間に分けて「いのちの授業」を行いました。講師の先生は、母子支援機関「福岡にんしん 110 番 link」の江上美栄先生が今年もお忙しい中にご来校いただき、授業を行っていただきました。赤ちゃんがお母さんのお腹の中で生まれるまで、そして生まれてからの成長をお話しいただき、自分の誕生や成長と重ねて振り返ることができたのではないでしょうか？

以下は、生徒の感想です。

・今日の学習で、自分が産まれて生きていることがどんなに大変ですごいことかを学びました。そして、自分のことをもっと大切にして、親にも感謝を伝えようと思いました。危険な状態で赤ちゃんを産んでそのまま亡くなってしまうことやお腹の中で赤ちゃんが亡くなってしまうこともあると知り、私が産まれたことは本当に奇跡なんだと感じさせられました。亡くなってしまった赤ちゃんの分も精一杯命を大切にして生きていこうと思います。

・体が線対称で作られていることを初めて知った。お腹の赤ちゃんは日がたつごとに手足や頭の形ができてきてすごいなぁと思った。生まれてきた赤ちゃんの頭には、２つの穴があることを初めて知った。これまで保健の授業でいろいろなことを学んできたが、まだまだ知らないことがたくさんあるなと思った。僕は、今回のいのちの授業を通して、あらためて生きていること大切さを感じた。なので、自分だけはなく相手のことも尊重しようと思った。

・生まれてこれるのは２人に１人、赤ちゃんは１分間に 120~160 回の心拍数　今日観た映像や話は全部知っていたけれど、私のお姉ちゃんたちの経験を重ねて聞いてみました。本当に女性は命がけで赤ちゃんを産んでいるんだとあらためて分かりました。私は、看護師になりたいと思って、少しずつ勉強しています。人のつながりや命の大切さを勉強し、いろんな医療現場のドラマを見て、感動してすぐに泣いてしまいます。経験はしていないけれど、大変さが分かるのでお母さんになった人を尊敬します。また、助産師もいいなぁと思っていたので、看護師や助産師の資格を取りたいと思います。

困ったときには、下記へお電話ください。

講演の様子です。

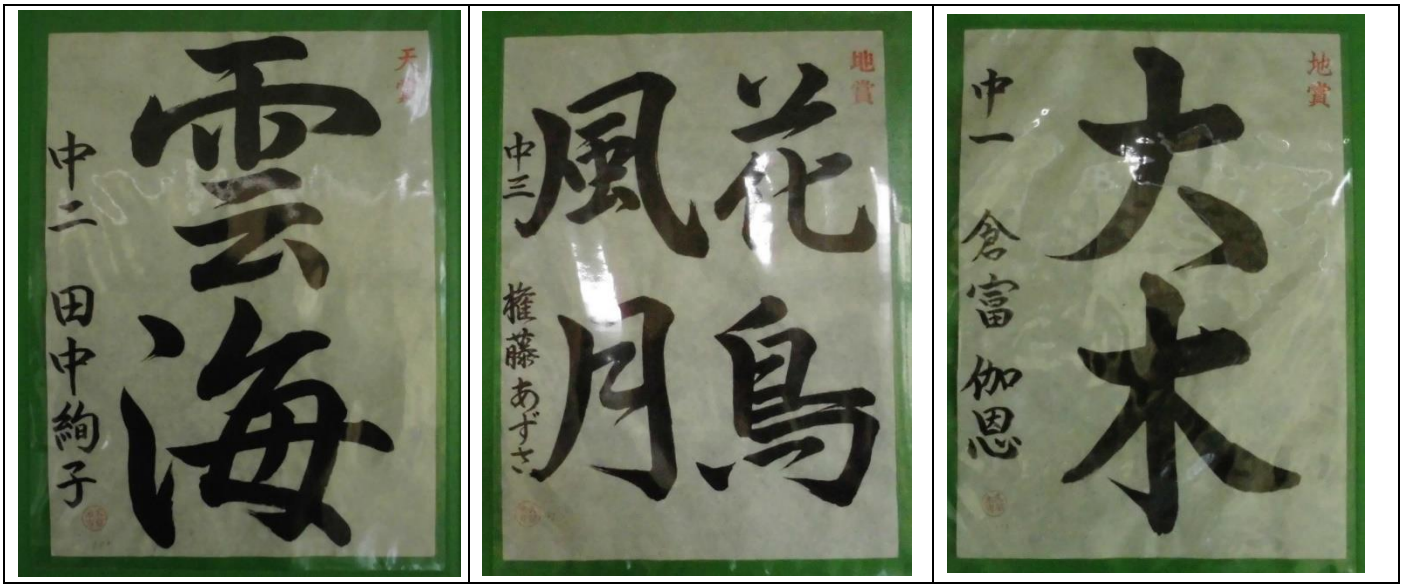
感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

★令和３年度第７１回筑後地区新年揮毫会が２年ぶりに開催されました★

令和３年度筑後地区新年揮毫会の結果が届きました。新型感染症の影響で２年ぶりの開催になりました。久留米市の状況です。天賞が１年生に１４点（内特別天賞３点）、２年生に８点（内特別天賞１点）、３年生に７点（内特別天賞１点）の合計２９点（過去最高の成績）が出ました。

以下は、本校の入賞者です。おめでとうございました。

天賞　２年　田中絢子　　地賞　３年 権藤あずさ　　地賞　１年　倉富伽恩



人賞　３年　吉岡実紗、高野瑞貴、原田すず、田中はな、塚本結衣、森下陽梨、生野由莉、立山莉彩、毛利奈月　２年　樋口心美、中野未鈴亜

秀逸　３年 伊藤七海、小田愛莉、野瀬遥華、山岡由愛、稲富明日美、内藤優那　２年 眞弓愛理　１年　内田美有

入選　３年 渡辺圭祐、柴田早恵　２年 泉　夢夏、石橋大和　１年　行徳　翼、中野怜椰、立石聖和、中野澪男、内藤　暖

公立入試本番　卒業式間近です。今年の言葉は、「絶対、大丈夫！！」

いよいよ2月も終わり、明日から3月。公立入試直前。感染防止のため、４日（金）と7日（月）はオンライン授業になります。そして、１１日（金）は卒業式。

「己の力を信じて、しっかりやって欲しい！」と願うだけです。

昨年、プロ野球の東京ヤクルトズワローズを優勝に導いた高津監督の魔法の言葉「絶対大丈夫」。シーズンを振り返って、４番バッターの村上選手は、「言葉ってすごく大切なんだという風に思いました」。また、チームリーダーの山田選手も、「『絶対大丈夫』を信じて、クライマックスシリーズ(CS)、日本シリーズと勝って日本一になったと思います」と。

これまで努力してきたことを信じて、やり切ってください。田主丸中の先生全員で、君たちの受検を、そして未来を応援しています。

オリンピックでも、金メダルは一人や一団体にしか与えられないように、自分の思いが通ってカッコよく≪勝つ≫などはごく稀で、ほとんどは≪負け≫になります。そうであれば、当たる確率が少ない≪勝ち≫に的を合わせないで、確率が圧倒的に高い≪負け≫に合わせておく方がいいのではないでしょうか。そのためには、子どものころから、負ける練習、失敗する練習、恥をさらす練習もさせておくべきかなと思います。そして、負けに強い人間、失敗に強い人間、恥をさらすことを恐れない人間に育ててやることが、子どもの一生を通しては幸せなのではないのかと思います。

（「一生感動、一生青春」あいだみつを　一部抜粋）